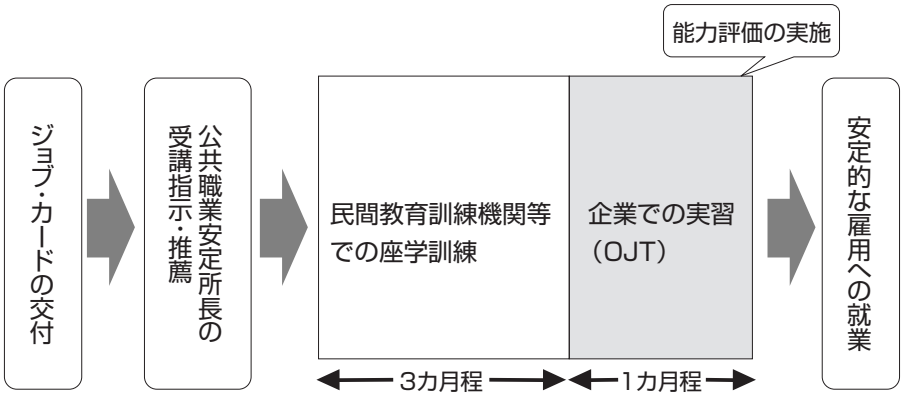
委託型訓練 日本版デュアルシステム（委託訓練活用型）

# 専修学校等での座学と企業での実習訓練で実践的な職業能力を身につける

職業能力形成プログラムの「委託型訓練」である「日本版デュアルシステム（委託訓練活用型）」は、国等から委託を受けた専修学校などの民間教育訓練機関または企業が主体となって行う公共職業訓練です。

原則として正社員経験が少ない人を対象に、安定的な雇用に就くために必要な技能、技術及び知識の習得を目指す、標準で4カ月（最長6カ月）の訓練システムです。教育訓練機関における座学と、企業における実習訓練を組み合わせたカリキュラムを通じて、実践に強い職業人を育てることを目的としています。

教科書代等は自己負担ですが、受講料は無料です。また、一定の要件を満たす方は、経済的負担を軽減するため、技能者育成資金の融資を受けることができます。




## ●対象者及び訓練内容

**【若年コース】**

公共職業安定所に求職申込みをする概ね40歳未満の求職者の方が対象。

教育訓練施設等の教室等で行う学科と実技で構成された**座学型訓練**に加え、座学の訓練内容に関連した、企業等で実際に仕事をしながら仕事に必要な能力を身につける**実習型訓練（職場実習）**を受講することにより、より実践的な知識・技能の習得を目指します。

訓練導入講習（社会人マナー・職場体験など職業意識啓発のための講習）が24時間設定されています。

**【知識実践習得コース】**

公共職業安定所に求職申込みをする職業能力形成の機会の少ない求職者の方が対象。

訓練内容は、座学型訓練と実習型訓練（職場実習）です。

## ●申込み

①受講申込書でハローワークに申し込み、②希望コースの訓練実施施設に選考予約します。（ハローワークで求職登録している必要があります。併せてジョブ・カードの作成をします。）

## ●選考

申込書による書類選考及び筆記試験・面接選考により行います。

選考により受講が決まると受講説明会に参加し、受講開始となります。

＊訓練開始日において雇用保険受給資格があり、かつ公共職業安定所長の受講指示を受けて受講される方は、受講期間中、雇用保険の失業給付（基本手当、受講・通所手当）が支給されます。
＊申込み・選考は東京都のケースです。

＊雇用・能力開発機構東京センター　平成20、21年度コース例（一部）

| 【若年コース】 | 【知識実践習得コース】 |
|---|---|
| **IT関連コース** | **IT関連コース** |
| ITオフィス科<br>Webサイトプログラミング科 | 表計算・データベース・VBAマスター科<br>オフィス事務スタッフ養成科<br>Webスクリプティング科<br>Webサイトデザイン科 |
| **事務関連コース** | |
| 医療事務実務マスター科 | |
| **サービス関連コース** | |
| 旅行ビジネス科 | |
| **居住関連コース** | |
| 建築CAD製図科 | |
| **福祉関連コース** | |
| 即戦力福祉スタッフ養成科 | |

協力：独立行政法人雇用・能力開発機構東京センター調査役　石川和弘氏
業務第三課委託訓練第三係長　森　玲子氏

委託型訓練 委託訓練を実施している教育訓練施設

# 現場の即戦力として活躍できるスキルを

早稲田電子IT教育センター
公共訓練事業部部長
中島康裕氏

当センターでは、Webクリエータとして現場で活躍するために必要なスキルを学べるコースを開設しており、雇用・能力開発機構から委託された公共職業訓練である日本版デュアルシステムを行っています。

Webスクリプティング科とWebサイトデザイン科の2科で現在2月からの受講生が学んでいます。どちらもホームページを作成できるようになるための4カ月のコースです。3カ月の座学と1カ月の企業実習を組み合わせており、座学の3カ月めは修了作品として架空のサイトを各自一つ作ってもらうことになっています。講座の内容としては即戦力育成を目指しカリキュラムを組んでおり、進度はかなり速いと思います（内容についてはカリキュラム例・コース概要を参照）。もっと長ければいいとの受講生の声はありますね。常に各30名の定員はいっぱいになります。受講生の男女比は女性2：男性1くらいです。25～35歳くらいの年齢層の方が多く、Webに関しては未経験者が7～8割といったところですね。

1カ月の実習訓練を行う企業としては、当センターでは過去に約40社の受入企業がありますが、1コースの30名を12～13社に割り振っています。修了生が就職している企業や当センターの講師・アシスタントの紹介、他企業からの紹介を受けた企業などが主です。Web制作会社やデザイン会社をはじめ、その他Webに関連する部門を持つ企業は非常に幅広くありますので、メーカーや商社といった普通の会社にも受け入れていただいています。実習先企業の方からは、「実習するとその人がどういう人かわかるのでよい」と好評で、修了生がそこに就職するという例もかなり出てきています。

企業での実習訓練（OJT）の内容は、Webの企画や制作の補助的な作業など、Webを作り上げていく過程の何らかの部分に携わるものです。職場実習というものをおそらく初めて経験する人が多いですし、実際の仕事の現場で学ぶわけですから、実態がわかってとてもためになるという声が多いですね。ほかには、「持っていたイメージより実際は大変だった」、「もっと勉強しようという気になった」、「業界がわかってよかった」などの感想があります。

雇用・能力開発機構やハローワークの方々と連携しながらこういった委託訓練を実施しているわけですが、受講生の皆さんには、当センターでの座学と企業での実習訓練を通じて、企業の求めるスキルを身につけ、Webクリエータとして社会で活躍していってほしいと思います。

センター講義風景

### カリキュラム例

**コース概要**

「平成20年度2月生受講生募集のご案内」より抜粋

| 訓練科名 | Webサイトデザイン科 | | 訓練期間 | 平成21年2月2日～平成21年5月28日（4か月） | 定員 | 30名 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象・受講要件 | Windowsの基本操作(Excel、Word)およびファイルの構造(保存、ダウンロード等)を理解し、Webサイト制作に興味のある方 | | | | | |
| 訓練概要及び目標 | Web制作のための、主要最新ソフトを用いて、ツールの操作やデザインのテクニックを習得する。また、最終的には架空のクライアントから仕事の依頼を受けたことを想定し、オリジナルのWebページを構築、制作する。 | | | | | |
| 主な訓練科目 | 座学型訓練 | 学科 | Web概論、色彩論、デザイン論、著作権法規、安全衛生 | | | |
| | | 実技 | HTML、Dreamweaver、Fireworks、Flash、サイト制作 | | | |
| | 実習型訓練 | | 実習先企業においてWebサイトの構築及び制作等の実地訓練 | | | |
| 仕上がり像 | ホームページの構造を理解し、Web上のグラフィックデザインおよびflashを用いた動きのある、Webページ制作ができる。 | | | | | |
| 訓練修了後の関連職種 | Webデザイナー、Webディレクター、HTMLコーダー | | | | | |
| 訓練科名 | Webスクリプティング科 | | 訓練期間 | 平成21年2月2日～平成21年5月28日（4か月） | 定員 | 30名 |
| 対象・受講要件 | Windowsの基本操作(Excel、Word)およびファイルの構造(保存、ダウンロード等)を理解し、Webサイト制作に興味のある方 | | | | | |
| 訓練概要及び目標 | Web制作のための、主要最新ソフトを用いて、ツールの操作とPHP言語によるプログラミングの基礎を習得する。また、最終的には架空のクライアントから仕事の依頼を受けたことを想定し、オリジナルのWebページを構築、制作する。 | | | | | |
| 主な訓練科目 | 座学型訓練 | 学科 | Web概論、色彩論、デザイン論、著作権法規、安全衛生 | | | |
| | | 実技 | HTML、CSS、Dreamweaver、Fireworks、PHP、Flash、サイト制作 | | | |
| | 実習型訓練 | | 実習先企業においてWebサイトの構築及び制作等の実地訓練 | | | |
| 仕上がり像 | ホームページの構造を理解し、Web上のグラフィックデザインを用いたWebページおよびデータ入力フォームなどのWebアプリケーションを含んだページの制作ができる。 | | | | | |
| 訓練修了後の関連職種 | Webプログラマー、Webディレクター、HTMLコーダー、PHPプログラマー | | | | | |

# 委託型訓練 デュアルシステム受講生に聞く

早稲田電子IT教育センターの受講生２人に聞きました。

## コンサルティングで面接や自己PRの苦手意識を克服

●Webサイトデザイン科　Aさん（30歳代・女性）

最初は写真製版の会社に就職してデジタル画像処理、色調整などを担当していましたが、2年半後に結婚を機に退職しました。派遣社員として事務を経験した後、Webデザイン等の製作会社に転職しました。その後スキルアップを目指して、Webシステム開発のプログラマとして就職し、正社員として働きました。

これまでは独学で勉強したり、短期でプログラミングのスクールに通ったりしましたが、実際に仕事で携わっているうちに、Webをより本格的に学びたいと思うようになりました。

前職を退職したときにスクールに通おうと考えていたところ、去年職業訓練校に通っていた友人に勧められたのが、この制度を利用する大きな動機となりました。

Webに関する仕事を全般的にやりたいと考えていて、Webデザインだけではなく、プログラミングやシステムについての知識を得たいので、幅広く勉強しています。このコースが始まってから1カ月くらい経ちました。独学とは違って、より実践的な技術が身についていると感じています。3カ月間の座学訓練後に1カ月の実習訓練を受けることになっています。

ジョブ・カードを作るにあたって初めてキャリア・コンサルティングを受けました。当センターへ担当のコンサルタントの方が来ていろいろアドバイスしてくれています。

私は面接が苦手で、履歴書に自己PRや志望理由を書くのにも時間がかかっていましたが、コンサルティングで文章のまとめ方を具体的に教えてもらえました。企業で面接を受けた後に自分で反省することはあっても、企業側から指摘してもらう機会はありませんし、履歴書や職務経歴書についてもどのように評価されているのかはよくわかりませんでした。コンサルティングでは面接の受け方について指導もありますし、第三者的な立場からの意見が聞けるのがよいですね。

就職活動をしていく上で、自分の方向性や目標にあらためて向き合うよい機会になりました。

Webデザイナーとしての実務経験が全くないという点では、就職できるのか不安を感じますが、前向きな姿勢で臨みたいと思っています。

## キャリアのアピールポイントを掘り下げることができた

●Webスクリプティング科　Bさん（30歳代・男性）

映像系の学校を卒業後、フリーランスで主にCMと映画の撮影の仕事を5年間していました。2年ほど前から、女性向け健康関連DVDを雑誌やWeb向けに企画する仕事を始め、その時に初めてWebやeコマース等の分野に触れました。その後、システムやWebを作っている会社に正社員として入社し、法人営業をしていましたが、もともと映像制作・編集の仕事をしていたこともあって、制作サイドの仕事のほうが向いているのでは、と考えていたところ、このような職業訓練システムがあることを修了生から聞き、退職してハローワークへ行き、このコースを受講することになりました。

営業職のときには、年齢も30歳代に入っていたこともあり、これから制作サイドに転職するのは難しいと考えていました。しかし、年上の先輩が、Webの実務経験もなく、このコースを修了後にWeb関連の仕事に就いて活躍しているのを知って、チャレンジしてみようと思ったのです。

最初にキャリア・コンサルティングを受けたのはハローワークでした。ジョブ・カードは様式をすべてWebからダウンロードして、記入したものを持って行き、ハローワークでコンサルタントと何度か相談して作りました。このコースは自ら「受講したい」と希望を出しました。受講中にもコンサルタントにこのセンターに来ていただき、話し合って再度詰めていきました。以前、就職活動をしたときは、履歴書と職務経歴書はネットに出ている例などを参考に書いていました。ジョブ・カードも最初は似たような感覚で書いていったところ、コンサルタントから、より細かい部分を掘り下げてアピールポイントとして書くようにアドバイスを受けました。フリーランスで活動していた時期は、撮影の仕事以外にも、イベント用に映像を編集して流したりしていましたが、以前の職務経歴書にはこのような活動については書いていませんでした。コンサルタントからは、そういった部分についても編集に使用したソフト名等、事細かに記入していったほうがよいと言われ、「こういうことも書いてよいのか」と感じましたね。カードのフォーマットも詳細に記入できる形になっているので、書きやすいと思いました。

企業に入社してキャリアを築いてきたわけではなくても、フリーターとしていろいろな職務をしてきた人にとっては、アピールできる材料が増えることになると思います。また、コンサルタントがより深く掘り下げるように尋ねてくるので、それまで簡単に書いて済ませていたことについていろいろと思い出すことが多いですし、キャリアになるのか自信がない部分についても違う側面から見てくれるので、気づかされることも多く、人と話すことで自分を振り返ることができるのは有益ですね。このコースは3カ月という短期間なので、1日の学習量がとても多く、復習をしないとついていけないほどです。ここで教えてもらった技術をしっかり身につけて、スクールにいる間に作品を作り、就職活動のさらなるアピールポイントにしたいと思います。